



May 11-12, 2016
KFC Hall, Ryogoku, Tokyo, Japan
<http://www.m-e-f.info/>

2016 Vol.1 – Creation

MEMSにより リアルワールド IoT, Smart City 実現を

MEF2016 実行委員会 委員長/東北大学 未来科学技術共同研究センター/

大学院工学研究科 教授 桑野 博喜

●IoT のリアルワールド化を実現する MEMS

MEMS Engineer Forum 2016 (5月11日、12日、両日 KFCホール) は間もなく開催されます。

MEMS Engineer Forum 2016 のポイントは、Web ワールドであった IoT をセンサおよびアクチュエータによりリアルワールド化する役割である MEMS に焦点を当て



トップダウン的に俯瞰することとボトムアップ的に有力技術を検証することです。Smart City はリアルワールド IoT の実現形態として、省エネルギー、省資源、交通、産業、医療、教育、農業、漁業など全ての領域に渡って私達の生活、ビジネスなどの基盤として構築されていくものと思われます。本フォーラムでは米国や欧州、アジアから、MEMS の研究や開発、さらに事業化まで、それぞれの位置で深く関わってきた講師を迎えるのみではなく、日本の IoT 戦略、情報通信インフラ・ビジネス戦略、センサビジネス戦略など MEMS にかかわる上流の技術から下流のビジネスまで注目すべき講演が目白押しです。また、IoT の中核を為すクラウドやそのセキュリティなど それぞれの講演だけでなく、パネル討論の場で、MEMS 関連の研究や開発、事業化にいたる歴史、現在、今後の道筋までが示される 2 日間となるでしょう。



May 11-12, 2016
KFC Hall, Ryogoku, Tokyo, Japan
<http://www.m-e-f.info/>

●世界各国の主要 MEMS 研究機関・会社のエキスパート 27 名による講演

全体を俯瞰する講演として、初日には、経産省から佐野氏を迎え、日本の IoT 戦略と MEMS の役割について論じていただきます。二日目には N T T から川村氏を迎え、MEMS センサを中心とするネットワークサービスの構築および体制について論じていただきます。米国からは、MEMS & Sensors Industry Group 代表の Karen Lightman 氏からスマートシティ、スマートプラネットという広大なスコープから MEMS とセンサを論じていただきます。この他、国外からは、UC Irvine Andrei Shekel 教授、Yole Development Claire Troadec 氏、InvenSens Mark Wood 氏、Bosch Georg Bischopink 氏、国立精華大学 Weileum Fang 教授、CEA-Leti Jurian Arcamone 氏、VTT Oja 氏、中国科学アカデミー Xinxin Li 氏、Fraunhofer ENAS Joerg Froemel 氏、など海外の主要な研究機関、会社を通じた MEMS の取り組みが紹介される予定です。一方で日本の講師陣も負けず豪華です。各種の新しい取り組みをマーケットから新技術に至るまで論じていただきます。

●MEMS 技術の事業化の可能性を探る MEF 2016

MEMS は IoT、Smart City の主役として躍り出ようとしています。MEMS の事業化では、米国では大学の研究成果を生かしたベンチャー企業によるもの、欧州では大企業による開発成果のスピンアウトによるものが多い傾向にあります。日本の企業が今後どのような方針で世界に向けて発進していこうとしているのか、非常に楽しみです。日本では、志の高い技術者が、そのアイデアを社外で事業化するには、ベンチャーファンドや金融機関



May 11-12, 2016
KFC Hall, Ryogoku, Tokyo, Japan
<http://www.m-e-f.info/>

の側のやや高い障壁があります。これを克服することも日本の MEMS 技術が IoT へ参画していく事において大きな課題となります。

こうした観点から、今回の MEMS Engineer Forum 2016 には、MEMS 関連の技術者だけでなく、大企業の経営や管理を担っている方々に、社内に眠っている MEMS 技術の可能性を探るためにも、ぜひお越し頂きたいと思っています。

●MEMS 技術者・経営者の腕の見せ所－従来の「置き換え」評価軸から、「新しく創造する」取組みへ

MEMS をベースとする IoT、Smart City は置き換えの世界では無く、新しく創造していく世界です。これまで日本の企業が、置き換えという評価軸で研究開発した製品を社内ですつぶすことが多い気がしていますが、IoT では、全く新たな市場を開拓していくこととなります。既存の技術や製品の置き換えでは無い取り組みが必須です。新たな市場を創り上げるためには、膨大な労力が要りますが、得られる利益が大きくなります。比べられる対象が無い世界に、MEMS は向かっていきます。ますます、MEMS 技術者、経営者の腕の見せ所になるでしょう。

日本の MEMS の技術、技術者が切磋琢磨し、さらに、技術者に目一杯、活躍してもらう環境を用意するために、最終的に MEMS ビジネスを推進するために本 MEMS Engineer Forum 2016 に来場され、有益な情報をご活用することを心より期待しております。

MEF 2016 プログラムは[こちら](#)で参照頂けます。

MEF2016 では、技術展示会を併設します。出展者情報は[こちら](#)